

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ヴァフシュ行政郡ルダキ地区サディシェロジ村第29 中等学校校舎建設計画供与式報告

平成28年4月13日、「ヴァフシュ行政郡ルダキ地区サディシェロジ村第29 中等学校校舎建設計画」の供与式がヴァフシュ行政郡で行われました。同行政郡は首都ドウシャンベ市から南へ車で約2時間の距離にあり、ここは長さ約13mの中央アジア最大の涅槃仏が発見されたアジナ・テッパ遺跡がある場所でもあります。

本計画対象となったヴァフシュ行政郡サディシェロジ村第29 中等学校は、人口約2,500人のサディシェロジ村唯一の学校です。本計画実施前の旧校舎には教室が2部屋しかなかったため、5年生以上の生徒は同校から7km離れた場所にある中学校へ通わなければなりませんでした。

今般本計画により、6教室ある新しい校舎が建設され、1年生から8年生までの児童・生徒320名が、全員安全に通学・学習できる環境が整いました。

供与式には、ヴァフシュ行政郡から副行政郡長、教育局長が参席したほか、第29 学校関係者や保護者、児童・生徒らが大勢参席し、日本の支援に対して大きな感謝が述べられました。

供与式では、蜂蜜とパンによる伝統的な歓迎を受け後、田村書記官と副行政郡長によるテープカットが行われました。



新校舎の外観と教室の様子。児童・生徒達は新しい校舎に大喜びでした。

手芸部の生徒達が「スザニ」とよばれる刺繍の入った装飾用の布地の作成風景を披露してくれました。そして、最後に児童たちと新校舎の前で記念撮影が行われました。

